



南十字星



2021年度 第1号

令和3年5月1日

クイーンズランド補習授業校

ブリスベン校

校長 直塚 裕典

E-mail: hoshuko@jc-b.com

2021 (令和3) 年度がスタート!



新しい年度のスタートです。私達教員も子ども達も、新たな気持ちでスタートできる大切なスタートラインに立っています。コロナ禍ですが、「今できることを精一杯やっとう」と教職員で共通理解をしたところです。高浜虚子の「春風や鬪志抱きて丘に立つ」。さあ、この俳句から始まる新年度がスタートしました。日本では春(オーストラリアでは秋)、「やるぞ!」という勇気が凜々と湧き出る季節です。

先週の始業式・入学式では、子ども達の「おはようございます」という爽やかな挨拶が響きました。2021年もみんなで素晴らしい年度にしていきたい! 幼稚部25名、新1年生38名、新中学1年生17名を加えて総勢267名と大規模校になり、これから始まる補習校生活に大きな期待をもって入学式に臨みました。今年の入学式は、昨年の卒業式と同様に人数制限があり、二部制で実施しましたが子供たちの聞く態度も姿勢も素晴らしく、とてもよい雰囲気でした。

始業式では、「昨日の自分より、今日の自分!」を子ども達との合言葉にして、前に進んでいこうと話しました。そして、四月・五月は、「出会い」、「先輩として」をキーワードに、考え・行動してほしいと伝えました。子ども達に希望と夢がもてるように、全職員で応援していきたいと思っています。

今年のテーマは、「心」をつなぐです!



今年のテーマは「心と心をつなぐ」を考えていきます。「子ども達・先生方・保護者の皆様」が、あたたかくつながっていけば、必ず子ども達の未来につながっていくと思います。

そこで、今年のテーマは、次の2つに重点を置きたいと考えています。

- 「学習」は、先生や友達の話をよく聞き、自ら学びたいという意欲(こころ)につなぐことが大切です。
- 「友達」は、相手の気持ち(こころ)を考えて行動すれば、心と心をつなぐことができます。
 - ～児童生徒のみなさんには、次のことを実行してほしいと思います～
 - ① 1時間の授業で「これは理解できた」と言えるようにしましょう。
 - ② 友達を大切にするためには、「ことば」を正しくつかいましょう。

補習校でのルールを守りましょう!

1. 学校にふさわしい服装をしましょう。
2. 携帯電話は、登校後、カバンの中に保管し、下校時まで先生の許可なく使わない。
3. 補習校では、日本語で話しましょう。

※特に、学校では携帯電話は必要ありません。許可なく使用すれば一時預かりといたしますのでご理解ください。

2021(令和3)年度 ブリスベン校 教員紹介

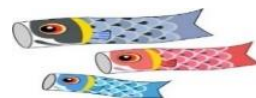
校長 直塚 裕典(文部科学省派遣教員)、教頭 大高 和子、教務主任 高橋 清美
幼稚園1組 竹下 幸恵、助手 北山 桃子 幼稚園2組 柏木 朋子、助手 田村 奈央
1年1組 一宮 香、助手モーガン梨英子 1年2組 田中 美鈴、助手 ホドソン位枝
2年1組 ベリス 裕子 2年2組 赤田 卓美
3年1組 トンプソン正子 3年2組 ホワイト幸子
4年1組 中尾 みどり 4年2組 大森 雅弥
5年1組 大高 和子 5年2組 ウードル朋子
6年 イオン 沙織 中学1年 高橋 清美
中学2年 中川 進(専科:国 クリソウド玲子・橋本隼、数:中川進)
中学3年 クリソウド玲子・橋本 隼(専科:国 クリソウド玲子・橋本隼、数:中川進)
※今年度は、中学2、3年生のみ、教員の専門性を生かすために教科担任制です。

BNE補習校の日課表

登校 : 8時45分までに
全校朝会・学級活動: 8時50分～9時10分
第1校時 : 9時15分～9時55分
第2校時 : 10時05分～10時45分
第3校時 : 10時55分～11時35分
第4校時 : 11時45分～12時25分
《理科学習,または補講を実施する日》
第5校時 : 13時00分～13時40分
第6校時 : 13時50分～14時30分

当面の行事について

- ・5/8 子どもの日集会
 - ・5/22 授業参観、保護者会総会
 - ・6/5 理科学習日(弁当あり)
- ※5/22の授業参観については、現在、借用校に人数等について問い合わせ中です。保護者の皆様のご理解のほど、よろしくお願いいたします。



保護者の皆様へ(ご連絡)

○補習校では、朝の登校時間に担任は教室で子ども達を迎えるようにしました。
週1回の補習校ですので、朝はとても大切な時間だと考えています。
担任の先生がおられるので、子ども達は安心して登校できると思います。

○日本語教室のご案内です

2週間に1回ですが、私がブリスベン校勤務の際に、もし希望があれば日本語の助言をしたいと考えています。その理由は、日本語が理解できず、なかなか授業が分からないという子ども達の声を聞きます。もう少し、「頑張りたい」という気持ちがあるお子さんは事務所までご連絡ください。少しでも子ども達の役に立てればと考えています。

- ①助言者：校長
- ②時間：13時～14時の間で実施(時間は自由)
- ③場所：職員室前の1年1組の教室



入学式「誓いの言葉」「歓迎の言葉」



《幼稚部・小学部 1 年生入学式》

【しんにゅうせい ちかいのことば】

わたしたち、いちねんせいとようちぶは、きょう、にゅうがくするのをとてもたのしみにしていました。ほしゅうこうでは、たくさんのおともだちをつくりたいです。おべんきょうをして、がんばりたいです。

しがつ にじゅうよっか

しょうがくぶいちねん 佐藤琴羽 高瀬陸

【歓迎の言葉】

ようちぶのみなさん、一年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

ぼくたちは、今日の入学式で、みなさんにお会いできることを楽しみにしていました。

みなさんは、今どんな気持ちですか。ワクワクしていますか。補習校がどんな所か分からなくて、少し心配な人もいるかもしれません。みなさんに、ぼくが一番つたえたいことは、補習校はとても楽しい所だということです。まず、補習校では、たくさん楽しい行事があります。たとえば、八月には運動会、十一月には補習校祭り、二月にはかるた大会、ようちぶのみなさんは豆まきもあるので楽しみにしてください。

いろいろな行事も楽しいですが、それより楽しいのは、毎週の学校生活です。どの先生もやさしくて、友だちもたくさんできます。毎週新しいことを教わったり、休み時間に友だちと遊ぶことも楽しいです。ぼくはオーストラリアで生まれましたが、補習校に入学したのは二年生の途中です。それまでは、家で一人で国語の勉強をしていました。一人ではあまり楽しくなかったけれど、補習校で友だちと一緒に勉強するようになってからは、国語の勉強がとてもすきになりました。ぼくは毎週補習校に行くことが楽しみです。

みなさんにとっても、補習校は楽しい場所になると思います。今日からぼくたちとみなさんは、いっしょに勉強をするなかまです。みんな友だちです。困ったことがあったら、いつでもぼくたちに声をかけてください。

児童代表 四年 寺崎琢磨

《中学部 1 年生入学式》

【新入生代表 誓いの言葉】

長かった夏も終わり、すがすがしい秋風とともに、僕たち中学部17名、小学部38名、幼稚部25名は、ブリスベン補習校で新たなスタートを切りました。今日は、僕たちのために、このような立派な式をとり行っていただき、ありがとうございます。

僕の中学部での目標は、自分で進学すると決めた中学部で、決められた課題をきちんとこなすことです。そのために時間の使い方を工夫し、現地校としっかり両立させていきたいです。目新しい目標ではないかもしれませんが、でもこの目標には理由があります。

僕は小学部の間、補習校での学習の他に、公文やノースショアにも通い、学習をしていました。他にもトランペットやテニスの練習、試合もあり、ぼくの補習校は常に何かと両立させるものでした。がんばって課題をこなしていましたが、昨年ハイスクールが始まってからは、現地校の宿題、課題の量がぐんと増え、またコロナ禍での自宅学習、オンライン授業など、生活ががらっと変わってしまい、戸惑いました。現地校が再開されてからは部活動が始まり、勉強に加えてトランペット、テニス、新しくはじめたローイングなどの練習で、だんだん自由に使える時間が少なくなっていました。ぼくは、作文があまり得意ではありません。長いウィークデーを終えた金曜日の夜遅く、疲れた頭で補習校の作文の宿題をしていると、だんだん気持ちが沈んでいき、もう続けていけないんじゃないかと何度も思いました。

それでも補習校を続けていこう、中学部へ進学しようと決心したのは、つらかったこと以上に、身についたものや楽しい思い出がたくさんあったからです。日本のアニメや漫画、バラエティー番組などをより深く理解し、楽しめるのは、毎日の音読や漢字学習を頑張ったからです。苦手だった作文も、完成させると大きな達成感になりました。毎週毎週、こつこつ続けてきたことが、僕の自信になっています。また、同じように、現地校やスポーツ、他の習い事と補習校を両立させてがんばる仲間との出会いもありました。そんな仲間と取り組んだ、学校行事の運動会、開会式でのファンファーレや、補習校祭り、かるた大会など、忘れられない思い出がたくさんできました。どれも、現地校だけでは得ることのできない経験です。僕は、現地校と補習校をしっかりと両立させていきます。そしてこれまで卒業式で見てきた先輩たちのように、胸を張って卒業できるよう、中学三年間を頑張りぬくことを、ここに誓います。

最後になりますが、校長先生をはじめ、先生方、保護者の皆さまに、今日からまた始まった補習校生活にご指導、サポートをお願いし、代表のあいさつとさせていただきます。

令和三年四月二十四日

新入生代表 赤地 凱

【在校生歓迎のことば】

中学部新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

日本の4月は桜が綺麗な季節ですが、ブリスベンではプールに入るのも寒くなり、秋の気配を感じるようになりました。昨年は、新型コロナ感染の影響で、補習校にも登校できない時期があり、オンライン授業になったり、楽しい行事も中止になりました。学校で友達と一緒に勉強できる事は、当たり前ではないと強く感じました。今日は、皆さんと対面で入学式が出来る事を、とても嬉しく思います。

皆さんは、小学部を卒業して、そのまま中学部に入学されたかも知れません。お父さんやお母さんも、そのまま補習校を続けて欲しいと思っておられるでしょう。しかし中学生になると、授業は更に難しくなり、覚える漢字も増え、もしかすると勉強が分からなくなったり、途中で辞めたいと思う時もあるかも知れません。補習校は本来、日本の学校に行くために準備する所なので、レベルが高いし、教え方もオーストラリアとは違います。

でも私は、日本語を学ぶ事は本当は楽しいと思います。自分の将来の可能性が大きく広がります。私は本を読むのが好きなので、日本の本を通して、日本や日本に近いアジアの事を知る事ができるし、歌や漫画、動画など、日本語が分かったら面白い事がたくさんあります。インターネットで日本のおじいさんやおばあさんと話もできるし、将来日本の人たちと仕事や交流もできます。

だから中学部では、自分で何か目標を持てるようになればいいと思います。自分で何かを学ぶという気持ちで、先生の話をしっかり聞き、コロナ規制なしで勉強できる事に感謝して、みんなで一緒に勉強しましょう。

中学部在校生代表 松井 成乃

